

“人工関節センターのホームページをご覧ください”

インターネットは、あらゆる情報に簡単にアクセス出来るのがメリットです。その反面、情報は氾濫し、どの情報が正しく、どれが間違っているかを見極めるのは、専門家ですら非常に難しい時代になっています。

当センターとしましては、むやみな宣伝目的のホームページでは無く、関節の病気や人工関節の説明を含めた内容を一般の方々にも分かり易く作成しました。

相原病院のホームページからリンクされていますが、Yahooやグーグルから「相原」「箕面」「人工関節」などのキーワードで検索できます。

ホームページはあくまで一般的な情報です。すべての病気には個人差があり、通常の治療で対応可能な場合と、特殊な治療を要する場合がありますので、詳細は主治医にご相談ください。

URL: <http://aiharajoint.com/>



センター長の海外探訪記 “タイ料理の巻”

タイと日本には多くの共通点があります。仏教国、米が主食で王室を持っているのみならず、性格も温和で笑顔絶やさないなど、旅行すると心温まる国です。

世界のグルメが絶賛するタイ料理ですが、日本人には香辛料が合わないと思われる方が多いのも事実です(私は大好きです!)が、総てが辛い訳ではありません。お米もインディカ米と呼ばれるパサッとした米ですが、サラッとしたタイカレーや南国の味の濃い野菜の炒め物にはとても合います。一方、北部タイではもち米が主食となり、料理も少しかわります。南部は海に囲まれていますので、日本人の大好きなエビなど海鮮も多く使われ、慣れてくると香辛料が無いと物足りなくなります。

暑い太陽の下で、辛い料理にキンキンに冷えた「シンハービール」があれば、あなたも微笑みの国で笑っぱなしになる事まちがいありません。



- 人工関節に特化した「人工関節センター」と乳がん診療に特化した「プレストセンター」を開設しており、より高度な専門医療を提供しております。
- 関節外来：岡 史朗 月・火・水曜午前9時から12時
- 関節外来：相原雅治 水・木・金曜午前9時から12時
- 脊椎外来：加藤泰司 隔週火曜 午後4時半から7時
- スポーツ外来：橋 優太 金曜 午後4時半から7時
- 理学療法士：岡本浩明・樋口慧・平田明日香
- 受付時間：平日午前9時～11時半、午後4時半～6時半 (水曜夜診休診)

土曜午前9時～11時半 (祝日休診)
相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000
箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052
ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい!と考えている“強い気”を持っている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にファックスでお伝えください。

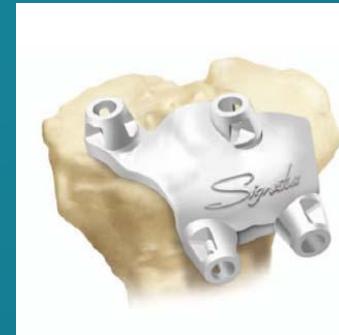
「ぶらな」

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

相原病院・人工関節センター新聞
第10号
2013年7月吉日

平成24年の人工関節置換術の手術件数は、172例となりました。手術待ち期間は約2ヶ月となっていますが、術前の貯血や検査結果で異常があった場合の再検査など考えると、悪くは無い待機期間と考えています。勿論、関節の状態が悪く、早期の手術が必要な場合には早期の手術で調整させて頂いています。

我々は、「量よりも質」にこだわり、安全で的確な治療を常に心がけて診療にあたっております。



“新しい技術であるPSIを始めております”



個人の骨変形に合わせて手術する方法には、“ナビゲーション”と各患者さんの術前のCTやMRIの画像データから手術器具を各個人用に作成し、それを使用して正確に骨をカットする手法があります。

勿論、通常の手術器具で術後成績に問題がある訳ではありませんが、更なる正確さを求める技術として、昨年から日本でも臨床使用が可能となり、その個人用の手術器具をPatient Specific Instrument (PSI)と呼びます。

当センターでもいち早くその新しい技術を取り入れ、そのメリットと使用にあたっての困難点を確認して、6月に札幌で行われた日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会で報告してまいりました。他の大学や人工関節の専門医の先生方と一緒に発表させて頂き、この技術の難しい面も含めて忌憚なきセッションが持てたと思っております。

今後すべての患者さんが適応とはなりませんし、新しい技術が必ずしも素晴らしいとは限りませんので、使用するメリットがあると判断した方には、これからも正確な手術を目指して臨床使用を行ってまいりたいと考えています。

あくまで手術時に骨を正しい角度でカットする為の器具であり、体内に設置する人工関節は従来と同じもので、各個人ごとに作成される訳ではありません(今後は3Dプリンターの発展で取り入れられる可能性はありますが、まだ先の話です)。

骨変形の程度、関節の拘縮などを考慮して、当センターで判断し、適している方のみ行っております事をご理解ください。

近隣病院の人工関節手術数 (平成23年度)

| 病院名 | 症例数 |
|--------------|-----|
| 相原病院(H24年度) | 172 |
| (H23年度) | 142 |
| (H22年度) | 136 |
| 箕面市立病院 | 32 |
| 市立豊中病院(H22) | 80 |
| 市立池田病院 | 64 |
| 国立刀根山病院(H22) | 43 |
| 宝塚市立病院(H22) | 27 |
| 市立川西病院 | 0 |
| 済生会千里病院(H22) | 46 |
| 北野病院(H22) | 111 |
| 大阪医科大学病院 | 114 |
| 済生会吹田病院 | 103 |



医療法人 啓明会
相原病院
Provides the best medical service

“2012年の人工関節センターの業績”

人工関節センター 岡 史朗 ・ 相原 雅治

毎日の業務に追われて、「ぷらな」の発刊が遅れてしまいましたが、昨年の当センターの業績を開示いたします。

*手術実績

人工関節置換術総数：172例
人工股関節置換術： 96例
人工ひざ関節置換術： 76例

| 人工関節置換術・股関節 | | 股関節手術数 | 股関節再置換術 | 膝関節手術数 | 膝関節再置換術 |
|-------------|--------------|--------|---------|--------|---------|
| 近畿 | | | | | |
| 大阪 | 済生会中津病院 | 132 | 25 | 292 | 7 |
| | 阪和第二泉北病院 | 125 | 2 | 170 | 8 |
| | 大阪市立大学病院 | 107 | 13 | 89 | 3 |
| | (国)大阪南医療センター | 107 | 10 | 94 | 4 |
| | 住友病院 | 102 | 3 | 112 | 4 |
| | 大阪市立総合医療センター | 101 | 10 | 110 | 3 |
| | 和泉市立病院 | 93 | 11 | 149 | 4 |
| | 相原病院 | 83 | 2 | 59 | 1 |
| | 関西医科大学滝井病院 | 81 | 9 | 139 | 1 |
| | 近畿大学病院 | 70 | 6 | 63 | 3 |
| | 星ヶ丘厚生年金病院 | 67 | 6 | 120 | 1 |
| | 大阪赤十字病院 | 58 | 8 | 368 | 3 |
| | 大阪医科大学病院 | 58 | 12 | 56 | 3 |
| | 若草第一病院 | 56 | 0 | 10 | 0 |
| | 鳥田病院 | 53 | 1 | 77 | 1 |
| | 多根総合病院 | 52 | 1 | 17 | 0 |
| | 大阪警察病院 | 52 | 8 | 92 | 0 |

H25年版「いい病院・股関節ランキング」に載っています

*学会発表（主発表のみ）

- 2月 日本人工関節学会（沖縄） ○相原雅治、岡史朗
「Taperloc-Microplastyステムを使用したDAA導入初期症例の検討」
- 7月 日本臨床整形外科学会（神戸）
「THAにおける大骨頭径の有用性の検討」 ○相原雅治、岡史朗
「THA待機期間延長の為に理学療法はどう介入するべきか」 ○岡本浩明
- 9月 Pacific Rim Orthopaedic Symposium（バンコク、タイ）
Panel discussion, Revision Hip Arthroplasty ○相原雅治
- 11月 日本乳癌学会近畿地方会 ○岡本浩明、樋口慧、平田明日香
「乳癌終末期患者への理学療法の意義に関する考察」
- 12月 日本股関節学会（新潟）
「Magnumステムを使用した大骨頭メカメカTHAの短期成績」 ○相原雅治、岡史朗
「THAに至らない変形性股関節症患者の股関節機能の検討」 ○岡本浩明
「術前骨盤前傾群がTHA術後股関節機能に与える影響の検討」 ○樋口慧
「人工股関節全置換術のアプローチの違いによる体温低下と術後合併症に及ぼす影響」 ○山下鈴美、福田暁子、岡史朗、相原雅治

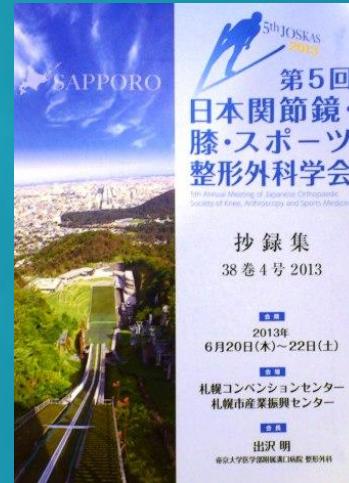
*セミナー講師

- 6月 北摂リウマチ懇談会 相原雅治
- 7月 第11回乳がん看護研究会 相原雅治
ピラティストレーナー研修会 岡本浩明
- 10月 ひざと股関節の健康講座 相原雅治
箕面市薬剤師会学術研修会 相原雅治
久光製薬研修会 相原雅治
- 11月 宝塚市生涯学習を進める会 相原雅治
旭化成ファーマ研修会 相原雅治



“日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS2013)”

センター長 相原 雅治



6月20~22日に札幌コンベンションセンターにて第5回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会が開催されました。この学会は、関節鏡学会、膝学会、スポーツ整形外科学会の3学会が融合された大きな学会です。スポーツ整形外科は、最近では関節の内視鏡を使って小侵襲で手術することが多く、その中でも膝関節が主な治療対象関節になるので、発表内容や関係する専門医が重複するために、5年前から全てをまとめて大きな学会を札幌と那覇で交互に行うことになりましたので、今回は札幌の順番でした。

発表内容は今回の「ぷらな」に書いてある“PSI”に関する発表です。また、日本でも一部の大学病院、人工関節を数多く行っている基幹病院や人工関節センターを有する病院でしか行っていない新しい技術のため、発表してきました。

次回以降はもっと増えると予想されますが、今年のPSIのセッションは2つあり、発表施設は当センター以外に札幌医大、東京慈恵医大、大阪大学、川崎医大、船橋整形などでした。

まだまだ発展段階のこの技術を如何に安全かつ正確に使用して、手術に応用できるかを皆で話し合い、有意義なセッションになったと思っています。

他にも人工膝関節のみならず、膝や肩の関節鏡やスポーツ医学の発表を聞いて、来年の学会に向けて、当センターでの経験とデータを更に集積&解析していき、その結果として医療技術を高めて、皆さんへ還元していきたいと考えています。

さて、6月の北海道は梅雨の本州と異なり、カラッとした気候で一番良い季節と言われますが、今年はこの地も天候不良の様で、少し残念な天気、少し肌寒いくらいでした。まあ、遊びに行った訳では無いので、贅沢は言いませんがね~。でも、少し時間を作って、円山動物園（有名な旭川の旭山動物園には勝てませんが、現在改築中で乞うご期待）にいる生後半年の白クマの赤ちゃんを見に行ってきました。双子で、ひとり水が大好きで、もうひとは陸が好きらしく、既に個性を発揮してとても愛らしかったです。お寿司もラーメンも旨かった...と書いたら、「本当に学会行ってきたの？」って言われそうなので、この程度にしますね！

